



東京都と連携した活動

「外国人おもてなし 語学ボランティア」 育成講座

報告

2018/06/30

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

6月30日（土）、東京都が行なっている「外国人おもてなし語学ボランティア」育成事業の1つである「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を南大沢キャンパス1号館105教室にて実施しました。

東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるため、「外国人おもてなし語学ボランティア」を育成しています。

東京都と本学の共催で行う本講座は、今年で3年目の実施となります。今回は、30名の学生が受講し、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や外国人に対する「おもてなし」の心を身につけるため、「おもてなし」や異文化コミュニケーションについて映像やグループワークを通して学習しました。

・おもてなしの心

講座を始める前に、2本の動画を視聴しました。1本目は、「外国人おもてなし語学ボランティア」は、どのような取組なのかについて知るための動画です。2本目は、台東区谷中にある「澤の屋」という旅館を紹介した動画です。「澤の屋」では、日頃から積極的に外国人の宿泊客と英語でコミュニケーションをとっています。ご主人は決して流暢な英語を話せるわけではありませんが、その丁寧な対応に外国人宿泊客も満足して宿を後にします。動画の中でご主人は、「うまく英語を話すことよりも相手をおもてなしする、受け入れるという姿勢が大事。気後れしている、関わりたくないといった内面は、言葉に出なくても相手に伝わる」といった話をされています。

「おもてなしの心」とはどのようなものなのか、学生それぞれに感じるものが多くあったことでしょう。

・傍島先生によるおもてなし講座

動画視聴後は、講師の傍島一夫先生に、外国人とのコミュニケーションについて教えていただきました。ご自身が外国に住んでいた時のエピソードなどを交えながら話をしていただいたことで、受講学生は外国人と交流することの楽しさを感じたようでした。

講座では、ペアやグループによるロールプレイが多く取り入れられています。言葉による説明禁止のジェスチャーゲームでは、ペアの相手に、「神社の参道の通り方」などを伝えました。伝えたいことを身振り手振りで的確に伝える学生もいれば、自分の思い通りに伝えられず焦る学生もあり、「どうすれば相手に伝わるか」悩んでいる様子が印象的でした。

さらに、英語で日本文化を伝えるロールプレイでは、「神社での手の清め方」「神社での参拝のしかた」を伝え合いました。英語で訳せない難しい日本語があっても、簡単な英語を組み合わせたリ、ジェスチャーを交えて動きで表現したりしながら、どのグループも上手に表現していました。

講座の最後には、今回学んだことを踏まえて、おもてなし5か条を決めました。これから、訪日外国人と接する時に、この5か条を思い出しながらコミュニケーションを取ることができれば、最高の「おもてなし」ができるはずです。

～おもてなし5か条～

1. 相手のことを考える
2. 相手と一緒に考える
3. 自信をもって積極的に
4. わかりやすく丁寧に
5. 思いやりの気持ちを大切に

・受講学生の感想

- ・「ただ話を聞くだけでなく、グループワークなどがあり、面白かった」
- ・「動画などや話し合いを通して、おもてなしについて考えるきっかけとなりました」
- ・「オリンピックで日本に外国人が増えたら、積極的にボランティアを行なっていこうと思いました」
- ・「5か条を頭において頑張っておもてなししたいと思います！！」
- ・「人気で講座をとることをあきらめていたのですが、学校でこのような機会があり、とても嬉しかったです」
- ・「実際に話しかけられるかという不安はあります



講師の傍島一夫先生

ディラ国際アカデミーからきていただいた傍島先生には、外国人とのコミュニケーションについて教えていただきました。

難しい英語表現を使おうとするのではなく、簡単な英語を組み合わせたリ、大げさなほどのジェスチャーをしたりして伝えようとするのが大切だと話されていました。



ペア・グループでのロールプレイ

本講座では、ロールプレイを通して実践する機会が多く設けられており、学生たちは試行錯誤しながら取り組んでいました。

特に、日本の魅力として神社の参拝方法や和食の作法など、伝統文化を伝える際には、英語だけでなく、自分の体を使って相手に伝えている様子が見受けられました。何とかして相手に伝えようとするその姿勢や一生懸命さから、「おもてなしの心」を感じることができました。

今回限りではなく、これから「外国人おもてなし語学ボランティア」として本学の学生が活躍していくことを期待しています。